

ゆきとどいた教育の充実を！ 県議会に請願署名5948筆を提出

広島県議会定例会中の12月15日、県の「ゆきとどいた教育をすすめる会」(佐藤清隆代表)は、私学助成の拡充や教育費の公私間格差をなくすことなどを求める署名(私学署名)6759人分と、国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進などを求める署名(公立署名)5948人分の請願書を、中本隆志県議会議長に手渡しました。



中本県議会議長(左から3人目)に請願を手渡す神部副委員長(同4人目)

公立高校生の保護者は「古い学校のトイレをぜひ改修してほしいし、県立高校の統廃合の方針は撤回してもらいたい」と発言。中本書記長は「不登校も教職員

全国署名集約集会



全国の仲間と力あわせて

もたない。国をまたず県の教育予算を増やしてほしい」と発言しました。私立高校の保護者は「共働きだと年収590万円を超え、助成が低くなる。問題は山積しています」と訴えました。請願提出にあたっては、全会派に要請しましたが、紹介議員になっていただいた日本共産党の藤井敏子、河村晃子両県議のみが同席しました。来年2月には国会に提出するため、引き続き署名の取り組みを呼びかけています。

これに先立つ12月5日、日本橋社会教育会館にて、今年度の教育全国署名・請願集約集会が行われまし

た。全教広島からは、海田支部の胡谷さんご夫妻に参加していただきました。(以下、胡谷さんの報告より抜粋)

11時より全国教育文化会館で意思統一を行い、11時30分から各県ごとに地元の国会議員への要請に衆参の国会議員会館を訪問しました。広島県の選出議員7名を訪問しました。留守の2名を除き、秘書に要請文を渡し、紹介議員になってほしいと要請しました。その後、日本橋社会教育会館での集約集会に参加しました。会場は、200名を超える参加者で一杯になり、全国の運動の交流や各県の集約数を発表しあいしました。全国では94万余の署名が集まりました。集会は、国会提出の2月末まで引き続き奮闘することを確認しました。その後、16時すぎに出発したパレードは、日本橋から京橋までの3.5kmを歩き、高層ビルが林立する東京の中心部で「ゆきとどいた教育をすすめるよー！」と元気にアピールを行いました。今回、久しぶりに参加した集約集会でしたが、この署名が持つ意義を改めて感じました。

あらくさ

被爆80年の今年。平和を願う歌がいくつか新しく作られた。その中の一つに「ほしになった町」という曲がある。歌詞の一部を紹介する。

中島本町
空が真っ赤に染まってさ
大好きを奪った色だ
夕焼けは大っきらいさ
ある被爆者の証言を取り入れて
歌詞が書かれているらしい。
早速、6年生に聞いてみた。
「中島町に住んでいる人は？」
一人、手が挙がった。
「では、中島本町に住んでいる人？」
誰も手を挙げない。少しの間沈黙が続く。一人が口火を切った。
「先生、もしかして、中島本町って、今、平和公園になってるところなんじゃない？」
はっとした空気が、教室の中に広がる。子どもたちはこれまでに学習してきたことを思い出した。かつての中島本町は、原爆投下前、広島市内で一番賑わっていた繁華街であったこと。原爆によって一瞬で壊滅したこと。一人がため息をついた。
「ああ、だから、『ほしになった町』なんか…」
あまりにも深い悲しみ。それを共有して、これから平和な未来をつくっていくことへの決意、願い、祈りが込められている。また一つ、大切にしていきたい歌と出会った。
平和を諦めない。平和を求めて共に学び続けよう。来年も。

(U)

教職員の身分を守る！

「先生たちは100%全教自動車保険に入るべきだ」

全教自動車保険 全国会議



12月12日、東京で全教自動車保険全国会議が開催され、全教広島から中本書記長と金子書記が参加しました。この会議は、全国の全教構成組織の役員、代理店、東京海上日動の各支店の担当者らが一堂に会する、他に例のない会議です。この会議の目的は大きく二つ。一つ目は、東京海上日動の担当者が数年ごとに替わる中で、「合意事項」に基づいた「全教方式」による事故対応を全国均一で徹底させること。二つ目は、加入促進のための知恵を全教と東京海上日動が出し合い、前進のための結節点とす

ること。

重大事故でも教職員の身分を守るといふ教職員組合ならではの活動を実践するために、東京海上日動に対応を求め、両者が協力して「自動車保険の社会的役割」を向上させていく上で重要な会議です。全体会（上の写真）では、まず、今の教職員を取り巻く情勢を東京海上日動の社員に理解してもらったための基調報告が全教から行われます。続いて両者から一年間のとりくみについての報告、「合意事項」の確認等が行われます。そして、組合、代理店、東京海上日動が協力して加入促進や事故対応にあたった特徴的な各県報告があります。その後、十数名ずつの小グループに分かれた分會で、さらに議論、交流を深めます。

この会議に参加した東京海上日動の担当者は、「先生たちは、100%が全教自動車保険に入るべきだ」と口をそろえます。各職場での、全教自動車保険を広く知らせるための活動が求められます。

互いのたかひ 今後に生かす

政令市関係教組 交流会 in 広島

12月5日（土）6日（日）の二日間、広島市西区民文化センターで、政令市関係教職員組合交流会 in 広島が開催されました。この交流会は年に2回、春に実施の1回目はオンラインで、冬に実施の2回目は各政令市の持ち回りで開催されています。今回は広島市での開催となり、全国12政令市から、19名が参加。広島市教組（全教）からも9名が加わって、それぞれの自治体の状況やたかひの交流が行われました。給特法等改定にともなう担任加算については、特支担任にも支給される自治体や、教員全体から義務特手当を減額するものの、同額を全員に支給する自治体があるなど、

国言いなりでなく、組合との交渉の中で独自の対応をするところもありました。部活動の地域移行、ICT教育の危うさ、未配置問題、仲間増やしの工夫など、様々な論点で経験を出し合い、互いに今後の運動のヒントを得る貴重な機会となりました。

【広島からの初参加者の感想】

他都市ではタブレットがリースだったり、校内に車を駐車するのに駐車料を取られていたり、広島市と他の政令市との違いが分かり、学びになりました。また、神戸では重点要求書をもみなで話し合って作り、市教委交渉を迎えるなど、組合活動自体を学習会形式で行っているのも面白いと思いました。今後の組合活動に活かせたいなと思いました。



呉で街頭署名



12月20日、全教広島海田支部が呉駅前で開催された街頭署名活動を実施し、8名が参加。呉支区書記長の胡谷さんが、手書きのプラカードなどを用意して、「少人数学級の早期実現を」「ミサイルではなくせんせい増やして」「特別支援学校の過大過密の解消を」などとアピールしました。

30分の宣伝で、30筆の署名が寄せられました。

30分で30筆！



沿道に掲げた手書きのプラカード

11月29日(土)に青年部企画「先生と先生のおしゃべりカフェ」を二葉公民館で開催しました。講師に、全教広島海田支部の胡谷瑞穂さんをお招きし、「認め合い学び合える学級集団をめざして」というテーマでお話し頂きました。個や集団の実態を丁寧につかみとりながら、少しずつ変容していく学級集団の姿をレポートされた胡谷さんに対して、11名の参加者からは、それぞれの学級での悩みや質問が次々と出されました。個の小さな変化をすくい取る姿勢や、集団で学び意義を共



カフェ形式で気軽におしゃべり

給特法の再改定を！ すべての教職員の処遇改善を！ ～新しい請願署名と学習を広げよう～

改定給特法は、教員の勤務時間外の仕事を、労働時間と認めない、従来の政府・文科省の立場から一歩も出ていません。また、職種や立場の違いによって給料に差をつけ、学校での協力協同をこわし、教職員を分断・管理しようとするものです。

この度、全教から「すべての教職員の処遇改善と長時間神と労働解消のための請願署名」が提起されました。全教広島でもこれを積極的に受け止め、署名とその内容についての学習を推

進していきたいと思えます。各支部、分会などで、署名や署名裏面の資料を読み合わせるなどして、改定給特法の問題点について学びながら署名を広げましょう。また、給特法とはそもそもどのような法律なのか、今回の改定で何がかわったのか等に関するスライド学習資料を準備しています。講師依頼とあわせて書記局にお気軽にお問い合わせください。署名は春の通常国会への提出を目指して、**2月末を締め切り**としています。みなさんの積極的なとりくみを！

通認識でき、「また月曜日からがんばるぞー」という気持ちになれる時間になりました。レポートの後には、きさらぎ商事の金子さんから具体的な事例を提示しつつ全教共済の優位性について話して頂きました。また、市教組(全教)書記長の山本さんからは、「時間的

に窮屈な中でも、全教にしていることで心の余裕や仲間への信頼感が生まれ、それが子どもへの前での余裕につながる。全ての学校に組合員を！」との話を頂きました。青年部活動の活性化につながって、よりよい活動の在り方を模索していく貴重な一歩となりました。

年金・退職金 学習会

年金や退職金について、ふだんはあまり考えることがない方も多いのではないのでしょうか。しかし、必ずみんなが通る道であり、安心して生活を送る上で大切な制度です。

難しい制度をわかりやすく話していただき、毎年好評の学習会です。

ぜひ未組の方にも声をかけて一緒にご参加ください。



日時 1月17日(土)

10:00~11:45

場所 広島ロードビル・3F大会議室

講師 佐藤 雅幸さん

(広島市教組(全教)常任執行委員・元事務職員)

佐伯支部で教研

11月29日、佐伯支部の事務所で佐伯支部教研が開催され、5名が参加しました。実践報告は2人の方からありました。

一人目は宮内小学校の上田さんが「言葉を広げよう 聴覚障害特別支援学級の自立活動」というテーマで報告。聴覚障害をもつ児童は、手話を覚えることも大切だけれど、言葉の力(言葉を理解する力、コミュニケーションの力、表現する力)をつけていくことが必要だと上田さん。本の読み聞かせ、お話タイム、言葉カードなどで、言葉

を豊かにし、生活の中で使うよう促す、ていねいな実践が報告されました。

二人目は廿日市小学校の田邊さん。「特別支援学級のキャリア教育を実践する」というテーマで報告。キャリア教育の実践講座に参加して学んだことを生かしてのとりくみ。児童といっしょに自分の強みと弱みを考え、どちらも大切にしながら、友達と協力することや責任をもって自分の仕事をやりきることを体験したとのこと。

少人数でしたが、特別支援学級の、一人ひとりに寄り添った実践に触れ、教育の原点を想起させられる学びとなりました。

